

情報誌「アーカイブズ」第32号から第35号の概要

刊行部数 1,000 部 (34号特集号は 1,100 部)

号数	刊行	頁数	内容
32	4月	90	<p>I 文書の保存・管理、修復技術について アーカイブズ保存の理論－保存理論と保存修復の原則／青木睦 公文書館における保存修復について考えたこと－実務担当者研究会議 に参加して－／大湾ゆかり 平成19年度公文書館実務担当者会議に参加して／柳沢芙美子 実務担当者会議に参加して－公文書に関する実習を中心に－／佐々木 徹</p> <p>II 資料の保存 大量脱酸技術の展望－マネジメントの視点から－／安江明夫</p> <p>III 国際会議から 第41回国際公文書館会議円卓会議に参加して／小原由美子</p> <p>IV 公文書館をめぐる国・地方の動き 内閣府・内閣官房の取組み／佐々木奈佳 文書管理法に関する有識者会議の開催 総理施政方針演説・所信表明・大臣記者会見・質問主意書・国会質疑 公文書館推進議員懇談会「緊急提言」の提出 記録を伝える開館二十周年を経た富山県公文書館の近況／森俊 長野市公文書館の開館／野田寿一</p> <p>V 公文書館ニュース インターネット特別展「条約と御署名原本に見る近代日本史」 平成19年度公文書等移管計画について 独立行政法人館国立公文書館有識者会議（第2回）の開催 新規公開文書のお知らせ 平成19年度公文書館専門職員養成課程修了論文について／高山正也 独立行政法人国立公文書館の動き（11-3月） 国際アーカイブズの日の取り組みについて 第16回国際公文書館会議（ICA）クアラルンプール大会参加のお誘い 国立公文書館が実施する平成20年度研修計画 国立公文書館常設展・企画展のご案内、編集後記</p>
33	7月	92	<p>I 公文書管理の法制化にむけて 国家行政におけるアーカイブズの役割と責任／イアン・ウィルソン アーカイブズと記録の法制化に期待／サラ・チョイ 文書管理法の制定と情報管理体制の整備に向けて／岡本哲和 今後の行政文書の管理の在り方への提言／村岡正司 韓国の公共機関記録管理法全面改正と主な内容／金慶南 韓国公共記録物管理法の概要について／梅原康嗣</p> <p>II EASTICA2008・韓国新館の紹介 大韓民国国家記録院 Nara 記録館開館記念国際学術会議及び国際公文書 館東アジア地域支部（EASTICA）セミナー等の概要／中島康比古 国立公文書館におけるオンラインサービスの展望（カントリーレポート）</p>

			<p>大韓民国国家記録院 Nara 記録館見学記／中島康比古</p> <p>Ⅲ 有識者会議中間報告 「時を貫く記録としての公文書管理の在り方」～今、国家事業として取り組む～</p> <p>Ⅳ 公文書館をめぐる国・地方の動き 国会質疑 九州大学大学文書館の紹介／折田悦郎 開館二十年を迎えた千葉県文書館の近況／飯島渉 歴史的資料を残す磐田市歴史文書館の開館／佐藤喜好</p> <p>Ⅴ 公文書館ニュース 「国際アーカイブズの日」の取組み 平成20年度全国公文書館長会議について 公文書館推進議員懇談会（第5回）の開催 公文書館の動き（平成20年4－6月） 国立公文書館常設展・特別展のご案内、編集後記</p>
34	12月	102	<p>特集号：第16回 ICAクアラルンプール大会</p> <p>Ⅰ 日本におけるアーカイブズの発展</p> <p>(1) 歴史とアーカイブズ／石井米雄 (2) 日本における大学院アーカイブズ学教育の開始とその課題／保坂裕興 (3) 外務省外交史料館の所蔵史料と活動－外交史料の総合的情報センターをめざして－／内藤和寿 (4) 神奈川県立公文書館における公文書等の収集から閲覧までのシステム管理について－その現状と方向性について－／遠藤茂</p> <p>Ⅱ 電子政府化の発展と電子記録管理</p> <p>(1) セッション「電子政府化の進展と電子記録管理」のねらい／菊地光興 (2) 中国における電子記録管理－現状および将来への見通し－／WANG Liangcheng (3) 公文書のシームレスなフロー－韓国における電子記録管理の展開－ KWAG Jeong (4) 日本における電子政府化の進展と電子記録長期保存へ向けた取り組み／中島康比古 (5) ネットワーク情報化社会におけるアーカイブ－デジタル情報環境における持続可能性－／杉本重雄</p> <p>Ⅲ 危機とアーカイブズ</p> <p>(1) セッション「危機とアーカイブズ」のねらい／高山正也 (2) 『山－証券資料』について／伊藤正直 (3) 『日本石炭産業関連資料コレクション』－目録データベースの公開と今後の課題－／杉山伸也 (4) 原子力産業における重要記録の管理／山下貞麿 (5) 記録なくして、歴史なし－沖縄における記録再構築の試み－／仲本和彦</p> <p>Ⅳ 日本における資料修復の技術</p> <p>(1) 日本における修復技術の変遷／増田勝彦 (2) ワークショップ「修復の実演」／有友至・中島郁子</p>

			<p>V 第16回 ICAクアラルンプール大会への参加</p> <p>(1) 第16回 ICAクアラルンプール大会 当館の取組み・総会報告 ／小原由美子</p> <p>(2) 国際公文書館会議東アジア地域支部 (EASTICA) による展示会への出展参加／八日市谷哲生</p> <p>(3) EASTICA セッション 「伝統的な東アジアにおけるドキュメンテーション及びアーカイブズ マネージメント」 ー前近代におけるアーカイブズ (記録史料) と その管理ー／渡辺浩一</p> <p>(4) 資料：国際公文書館会議 (International Council on Archives, ICA) の概要</p>
35	3月	106	<p>I これからの公文書管理制度 公文書管理法制とこれからの公文書館における公開問題／宇賀克也</p> <p>II 有識者会議最終報告 「時を貫く記録としての公文書管理の在り方」～今、国家事業として取 り組む～</p> <p>III 地方公文書館の公開に関する事例報告 地方公文書館における公開をめぐる問題と対応について／戸嶋明 歴史的公文書の公開と個人情報保護／陳岡信夫 地方公文書館における公開を巡る問題と対応について／橋本竜輝</p> <p>IV グループ討議から 公開・非公開をめぐる諸問題／森哲也 公開・非公開をめぐる10の論点／嶋田典人 公文書館の現状と改善点について／小野芳津久 原点に戻ってアーカイブズの利用規定を考える／印藤昭一 公文書館設置に向けて／服部久士</p> <p>V 公文書館をめぐる国・地方の動き 質問主意書 (公文書管理法案 (仮称) に関する質問主意書) つくば分館夏の企画展「つくば今昔物語」について 開館四十年を迎えた東京都公文書館／西木浩一 岐阜県歴史資料館の近況／高木敏彦 開館20年を迎えた広島県立文書館の近況／石本俊憲 芳賀町総合情報館の開館／富田健司</p> <p>VI 公文書館ニュース 平成20年度公文書保存管理講習会 平成20年度公文書館等職員研修会 平成20年度公文書館専門職員養成課程 第34回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国 (奈良) 大会に菊池館 長が出席、来賓挨拶 平成20年度実務担当者研究会議 公文書館推進議員懇談会 (第6回) の開催 独立行政法人国立公文書館の動き (平成20年7月～平成21年2月) 国立公文書館アジア歴史資料センターのログマークについて 国立公文書館が実施する平成21年度研修計画 国立公文書館特別展のご案内・編集後記</p>